大事協だより

大島地区公立小・中学校
事務職員協会　研修部
第 ９０ 号
２０２５年１０月３１日　発行

【各地区からのお便り】

今回の原稿は，知名町，大和村よりいただきました。また，支援室だよりもご提供いただきましので是非ご覧ください。

【知名町事務支援室の紹介】

こんにちは。知名町と和泊町で構成される沖永良部島で，私たちは日々学校事務に励んでいます。支援室は毎月2回，拠点校の知名小学校で活動しており，小学校5校，中学校2校の計7名で運営しています。新規採用や再配のメンバーが多く，経験年数の浅い職員が半数を占めているため，互いに認定作業をチェックし合いながら，旅費や実績も含めた点検業務にあたっています。日々の業務で生じる疑問もこの場で解決できる，私たちにとって大切な時間となっています。

知名町事務職員研修会は年に6回を計画しています。今年度のテーマは「変化に対応し，主体的に学びを深める事務職員を目指して～「困った困った？」を「わかったわかった！」へするために～」とし，教育委員会との連携や課題解決に向けた話し合いを重ねています。さらに，和泊町との合同研修会を年に3回実施し，2年ごとに管外研修視察も行っています。
沖永良部の学校は外観が特徴的で，とても魅力的です。沖永良部にいらしたら，学校も見どころのひとつですのでぜひお立ち寄りください。



【大和村事務支援室の紹介】

皆様，こんにちは。大和村事務職員会です。

大和村は，奄美大島中央部に位置する，人口 1,300 人程の村です。村内には，雄大な自然が作り上げた心癒やされる景勝地が数多くあります。また，昨年にはハナハナビーチリゾートという温泉リゾートが，そして今年の4月には，生きているアマミノクロウサギを実際に観察することができる研究施設 Quru Guru（くるぐる）がオープンし，奄美大島の中でも特に注目されている村と言ってもよいのではないでしょうか。

そんな大和村には，小学校5校（うち一校は休校），中学校1校があり，3名の事務職員が配置されています。支援室は月2回実施しており，村内に一つの支援室ということもあり，研修会を兼ねる形で実施しています。どの学校も小規模ではありますが，不思議と各校で特殊な事例が発生し，支援室で協議することもしばしばあります。ですが，メンバーそれぞれの知識や経験・人脈，そしてチームワークを活かして，難しい問題もいつの間にか万事解決☆……できていると思っています（笑）　これからも，大和村の子ども達のために協力して頑張っていきます。







【新規採用1年目の声】

新規採用1年目の名柄小学校 谷口先生，与路小学校 東先生，国頭小学校 川原先生からも素敵な寄稿をいただいております。



【宇検村立名柄小学校　谷口 海澄先生】

今年度４月より新規採用事務職員として宇検村立名柄小学校に赴任しました，谷口海澄と申します。３月の下旬に辞令が送られたとき，宇検村は一体どこ？から始まりました。学校事務職員としての仕事と初めての一人暮らしを楽しんでいきたいという気持ちを胸に宇検村にいきました。４月は車がなく買い物にも行けない状態の中，先生方や地域の方に親切にしていただいたおかげでなんとか生活することができました。

学校事務職員としての業務においても，近隣の学校の経験豊富な事務職員の先生方の温かいご指導により無事１学期を過ごすことができました。

住んでいる宇検村では，バレーボール大会や村民体育大会など地域行事が盛んに行われており，島での生活の特色だと感じております。２学期も始まり，運動会の準備やエイサー踊りの練習とバタバタしておりますが一緒に頑張っている名柄小中学校の先生方や子どもたちにエネルギーをもらいながら，自分にできることを精一杯頑張っていきたいと思います。



【瀬戸内町立与路小学校　東 哲平先生】

採用されてから半年の月日が流れました。今では慣れつつありますが，赴任してきた当初は，与路島にスーパーやコンビニといった小売店だけでなく，自動販売機の類いも全くないため，船舶を利用しなければ食糧品や日用品などの物資が届けられないということや，天候によっては何日もの間物資が届かないこともあるという実態に驚き，モノのありがたさを痛感しました。

他にも，島内の人口が 50 人に満たないのどかな場所であるが故に，自然と顔見知りになり，地域住民の方々が，社会人１年目の私に対しても常に優しく接していただくため感謝しきれないほどです。

また，業務面においても特殊性があり，公務出張の際は船舶での移動が主で，定期船か海上タクシー（定期船がない曜日に限る）を利用して用務地に向かいます。生まれてから船を利用する機会があまり無かった私にとって，出張の機会が多かった ４ 月は船酔いとの戦い方も考えさせられました。

余談ですが，休日等で与路島から船で出た際には，買い出しを行いつつも，趣味である外食を満喫するため，できる限りいろんな飲食店に行き，自炊では感じることができない美味を感じながら，充実したひとときを過ごしています。

まだまだ不慣れなところもありますが，与路島で社会人としての １ 歩目を踏み出せたこと自体が貴重な財産となる経験だと思っています。今後も仕事と趣味を両立しながら，与路島の魅力を活かして，学校事務職員としての役割を全うしたいです。



【和泊町立国頭小学校　川原 涼先生】

この度学校事務として新規採用され，和泊町立国頭小学校に赴任いたしました，川原涼です。

沖永良部での一人暮らしに期待と不安を抱きながら赴任したことを覚えています。赴任直後の空港で先生，保護者の方々に出迎えていただいたときは緊張もありましたが，暖かい歓迎にとても安心しました。

４月から今に至るまでの間，新しい仕事内容や地域の方々との交流，沖永良部ならではの自然と，多くの新鮮な体験をさせていただいています。

学校事務の仕事内容の幅広さに日々目が回っていますが，和泊町支援室の先生方をはじめ多くの方が優しく丁寧に教えてくださるおかげで日々乗り越えることができており，心から感謝しています。

国頭小学校の児童たちにたくさんの元気をもらいながら，時には私から元気をあげながら，学校や地域に貢献できるような事務職員に成長していきたいと思います。これからもよろしくお願いいたします。



～　編集後記　副会長（研修）～

私事ですが、７月の県大会まで野球部の監督を努めさせていただきました。私は常日頃選手に「全国制覇しない限りどこかで負ける、悔いのない終わり方をするには今を頑張れ」「相手がいてこその勝負、相手をリスペクトできる選手になり、感謝を忘れるな」と言葉をかけつつ、自分自身にも言い聞かせていました。県大会準決勝で敗れてしまいましたが、涙をこらえながらも胸を張って整列する選手を見たとき、とても誇らしく思いました。

選手と一緒に「青春」を謳歌することができた幸せな１年間でした。

≪編集や原稿を寄稿してくださった皆さん、ご協力ありがとうございました。≫